


**庭の桜の はなもみじ**  
 平成24年6月4日  
 千曲市立屋代小学校  
 春秋ごとにむうなり **No.4**

**ひとひひとひの手でつくる児童会** 5月2日(水) 児童総会

本部より年間活動目標が提案されました。「笑顔のわ」「あいさつのわ」「協力のわ」という目標が承認され、今年1年この目標に向けて活動が始まりました。各委員会の活動計画の審議では、各学年から積極的に意見が出され活発な話し合いとなりました。



**みんなで育てる協働の森づくり<5/12(土) 大池市民の森>**



教育長先生と記念写真



植樹

大池キャンプ場に行って、木を植えたり、工作したりして、とても楽しかったです。「行ってよかったー」と思いました。「行かなかつたらそんなしてました」というくらい楽しかったです。

大池に行きました。開会式の際は雨がザアザア降っていて寒かったです。色々な木があって、しんちょうに植えていきました。体験教室の木工で母の日にプレゼントするメッセージを作りました。木を植えるのは疲れたけど、なんとなく楽しかったです。どんどんこういう事業に参加しようと思いました。

残念ながら雨でしたが、とてもたくさんの木を植えることができ、未来がとても楽しみです。市のみなさんと交流でき、とても市にこうけんできる会となりました。これからもこういう市の仕事をたくさんがんばりたいです。

## 風雪に耐えて、今なお美しく咲く桜 5月11日(金)校長講話



学校には新しい桜もあれば、古い桜もあります。古い桜はいったい何才ぐらいなのでしょう？私も、何か手がかりはないかと調べてみました。すると、古い書物にこんな文章を見つけました。【明治29年・・・千曲川が洪水になりました。明治30年・・・武州（埼玉・東京）から桜の苗木（赤ちゃんの木）を取り寄せ、千曲川の堤防に植えました。】という古い記録がありました。また、こういうお話もあります。【明治41年の卒業生の唐木田藤五郎さんが「桜は日露戦争直後、千曲川の土手から学校へ移植した。当時は、まだ押さえ棒があった。（屋代学校沿革より）】今年では2012年なので、年齢は111歳ぐらいということがわかります。みなさんは、111才の桜に見まもられているんですね。

さて、その桜・・・いったい何本あるんでしょう？実は今から13年前に調べた人がいます。中村義春先生という方です。（幹まわりが）・100CMより小さい-26本・100CMより大きい-23本・200CMより大きい-10本。今から13年前には全部で59本の桜があったんですね。よく調べましたね。では今はどうなのでしょう？この連休中に調べてみました。そしたら・・・こうでしたよ。・100CMより小さい-31本・100CMより大きい-23本・200CMより大きい-15本、さらにすごいのがあったよ。300CMより大きい桜が1本、全部で70本でした。前よりも増えています。新しく桜を植えてくださっている人たちがいるんですね。100年の風雪に耐えて、今なお美しく咲く桜・・・この桜は学校の宝です。そして地域のみなさんの宝です。これからもみんなで大切にして、次の子どもたちにバトンタッチしていきたいと思います。（お話の一部とスライド写真を省略して掲載してあります。）